

組立説明書

このたびはコイズミ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 この組立説明書をよくお読みのうえ、安全に正しく組立してください。
 ご使用のまえには取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
 保証書はお買い上げ日、販売店名の記入を確認し、組立説明書といっしょに大切に
 保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

● 取り扱いを誤った場合に想定される危害・損害の程度を示しています

 警告	「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。
 注意	「傷害を負うまたは物的損害発生のおそれがある」内容です。

● お守りいただく内容を示しています

 禁止	「行ってはいけない」内容です。
 必ず守る	「行わなければならない」内容です。

注意

● 組立および設置時の注意

 必ず守る	組立、設置、移動は2人以上で行ってください。移動する時は引きずらず持ち上げて運んでください。 →ケガをしたり、破損したり、建物の内装を傷つける恐れがあります。
 禁止	組立および解体に電動ドライバーは使用しないでください。 →ボルト頭がつぶれて締め付け、取り外しができなくなる恐れがあります。
 必ず守る	水平で平滑な床面に設置してください。 →不安定な場所に設置すると、がたついたり転倒や引出しの開閉に支障が出る恐れがあります。
 禁止	説明書に記載されている組立パターン以外の組立や改造等はしないでください。 →破損してけがをする恐れがあります。
 必ず守る	転倒防止金具が付属されている書棚等を単独で使用する場合、必ず転倒防止金具を使って書棚を壁 または柱などへ固定してください。 →転倒して破損したり、けがをする恐れがあります。
 禁止	直射日光のあたる場所やヒーター、エアコンなどの温風が直接あたる場所への設置はおやめください。 →変形、変質、退色の原因となります。
 必ず守る	組立のパターンによって使用しない部品や部材が残る場合があります。 →紛失しないよう大切に保管してください。

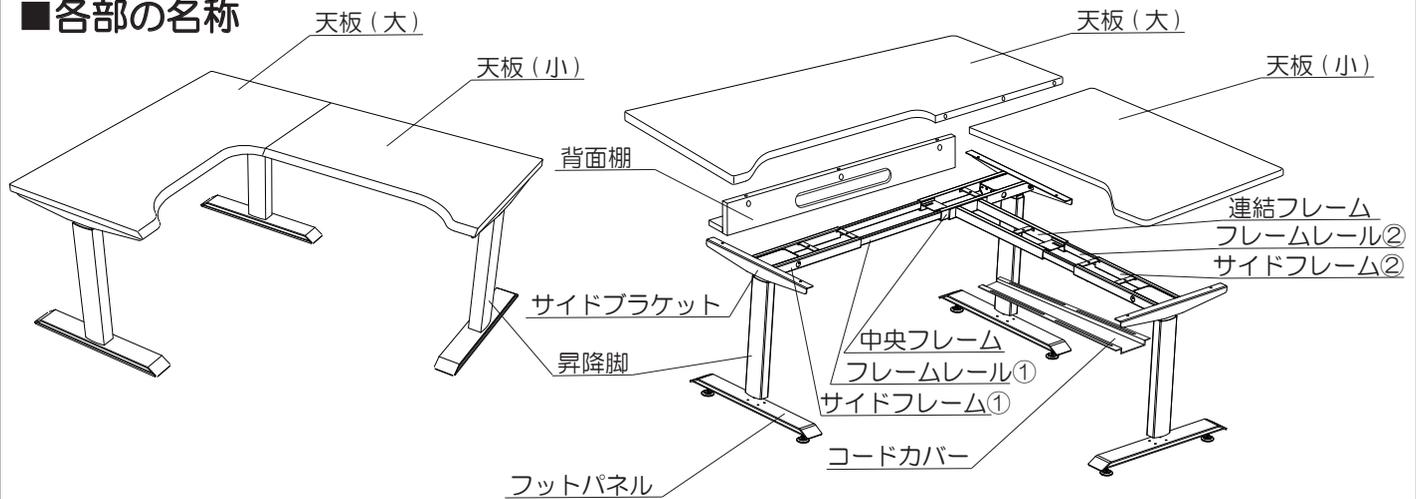
● 天然木の製品は木目柄、色に多少のばらつきがあります。
 このため展示品とお届け品では木目柄、色が異なる場合があります。

ULTAGE 【品番】 ●KWD-315 MOBK ●KWD-316 MOBK

1 各部の名称・付属品について

※本説明書では、3本脚(左):KWD-315 MOBK のイラストになっています。3本脚(右):KWD-316 MOBK を組み立てる際は、イラストを反転した状態で組み立ててください。

■各部の名称



※イラストは共通化しておりますので、購入いただいた商品とデザインが異なる場合があります。

■昇降ユニット付属品

A	B	C	D	E	F	G	H
ボルト(M6×10mm)	ボルト(M6×14mm)	コードクリップ	六角レンチ	電源コード	コントローラー	延長ケーブル	コントロールボックス
GLH2BU610	GLH2BU614	GLH2CL001	GLH2AK401	GLH2UI002 ※コントロールボックスに取付済	GLH2UH001	GLH2UJ001	GLH2UG002 ※中央フレームに取付済
 x32	 x18	 x16	 x1	 x1	 x1	 x2	 x1

※A ボルト (M6×10mm) は本製品では30個のみ使用します。

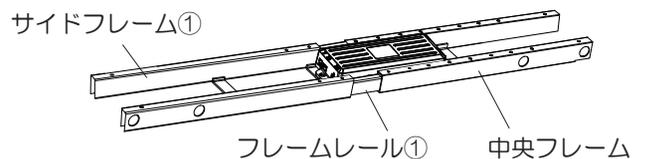
■天板付属品

I	J	K	L	M	N	O
ボルト(M6×30mm)	ボルト(M6×15mm)	ボルト(M4×15mm)	連結ボルト(金)	連結ボルト(銀)	回転金具	木ダボ
KSK6BU630	KSK6BU615	DRK2BU415	LTF4MB25E	SZC8MB605	SZC8MKN18	DRK6WD830
 x3	 x12	 x2	 x1	 x3	 x3	 x2

中央フレーム、フレームレール①、サイドフレーム①は下記のように組んだ状態で梱包されています。組立て前に部位ごとに分けてください。

- ①小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。
 →お様が飲み込む恐れがあります。
 ① Aボルト (M6×10mm) ・ Bボルト (M6×14mm) を使用する際は、
 D六角レンチをご使用いただきしっかりと締め付けてください。

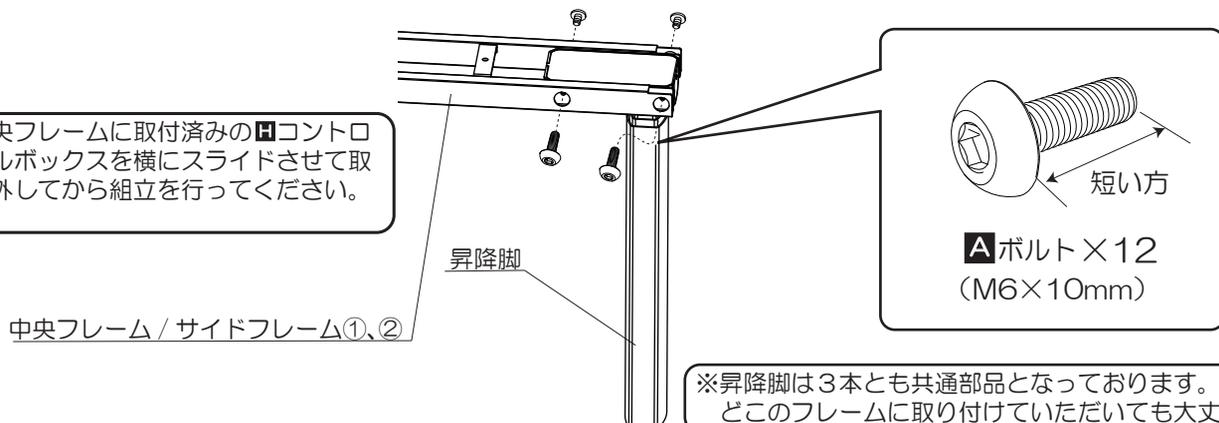
※枠内の9桁表記は、部品品番となります。



2 デスクの組立て

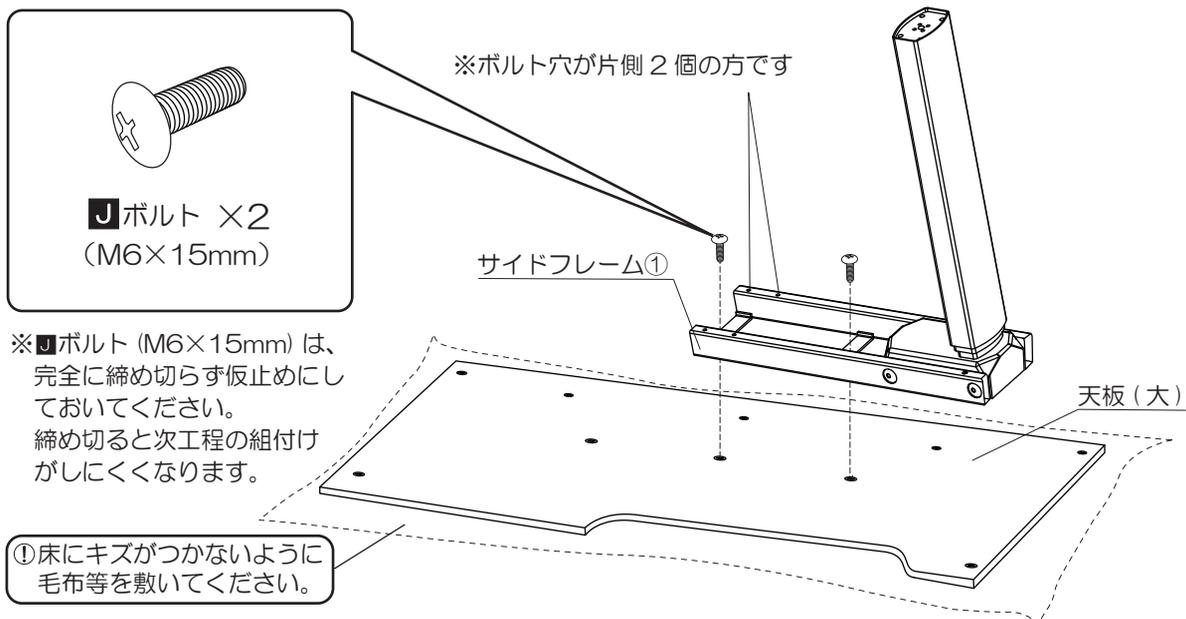
1 中央フレーム/サイドフレーム①、②への昇降脚の組付け

※中央フレームに取付済みのHコントロールボックスを横にスライドさせて取り外してから組立を行ってください。

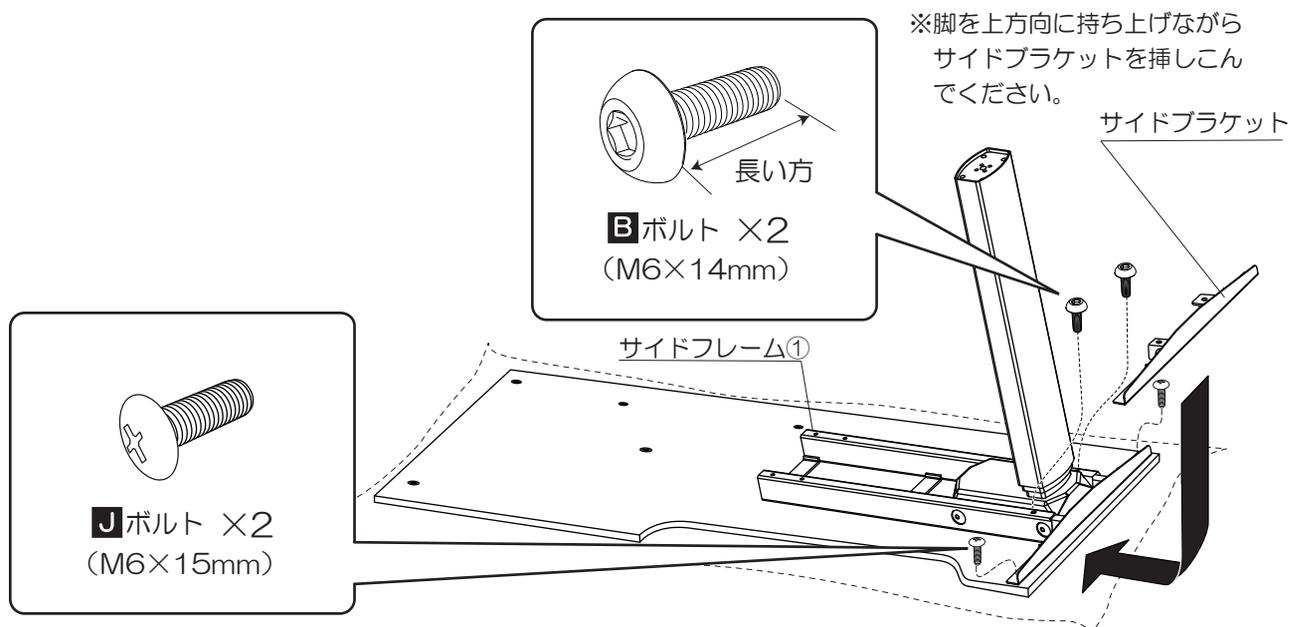


※昇降脚は3本とも共通部品となっております。どこのフレームに取り付けていただいても大丈夫です。

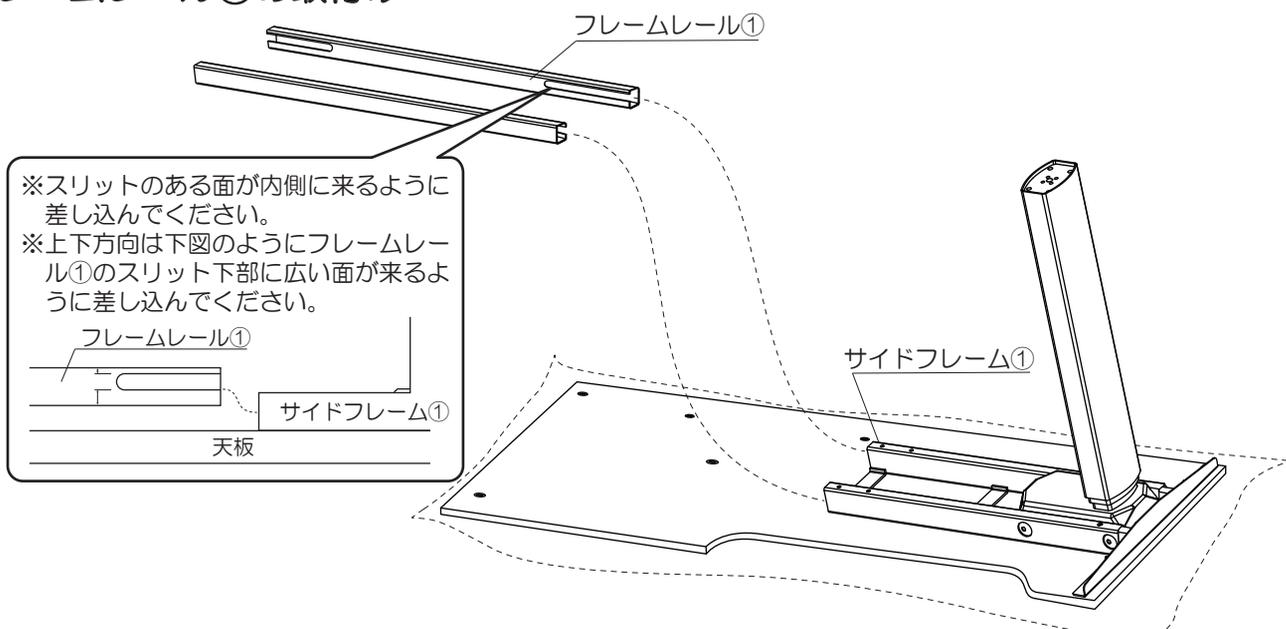
2 サイドフレーム①の取付け



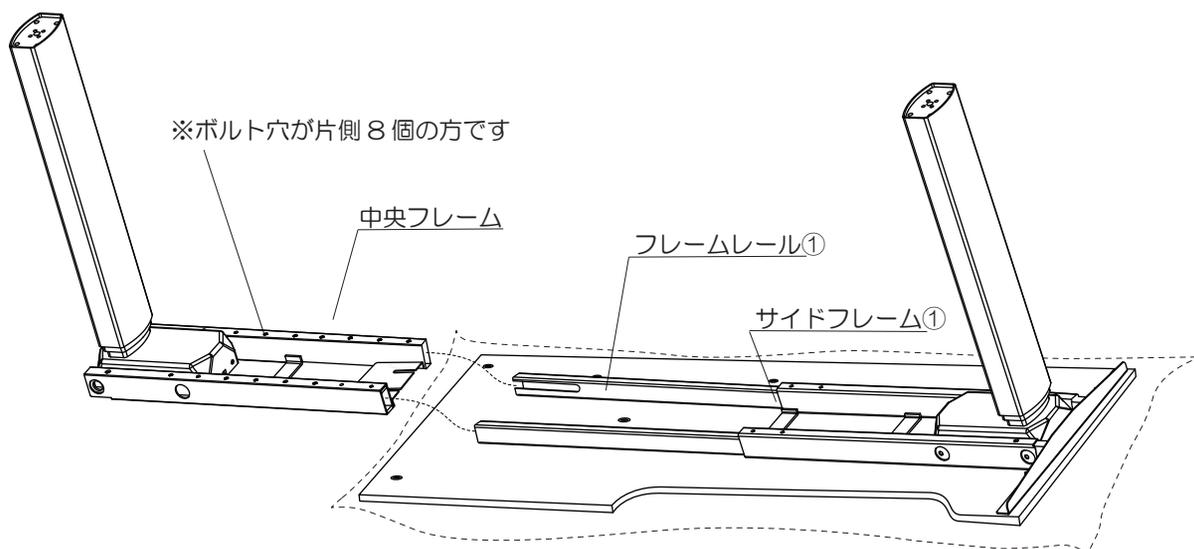
3 サイドブラケットの取付け



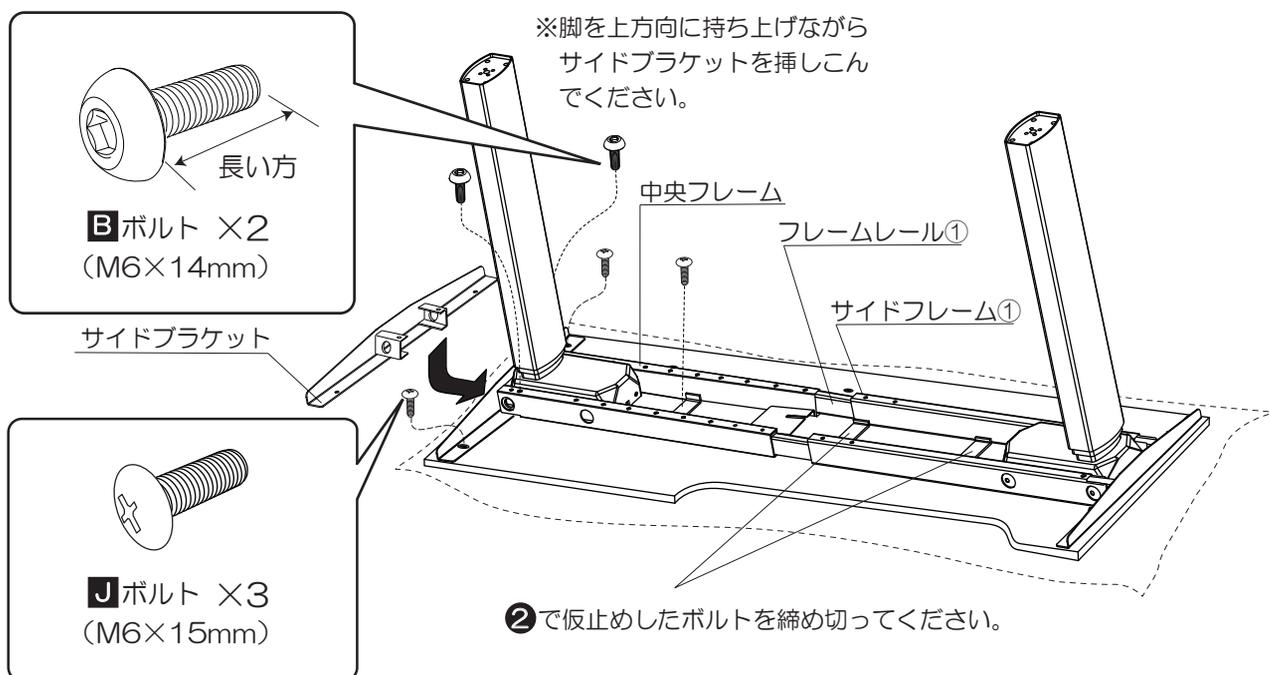
4 フレームレール①の取付け



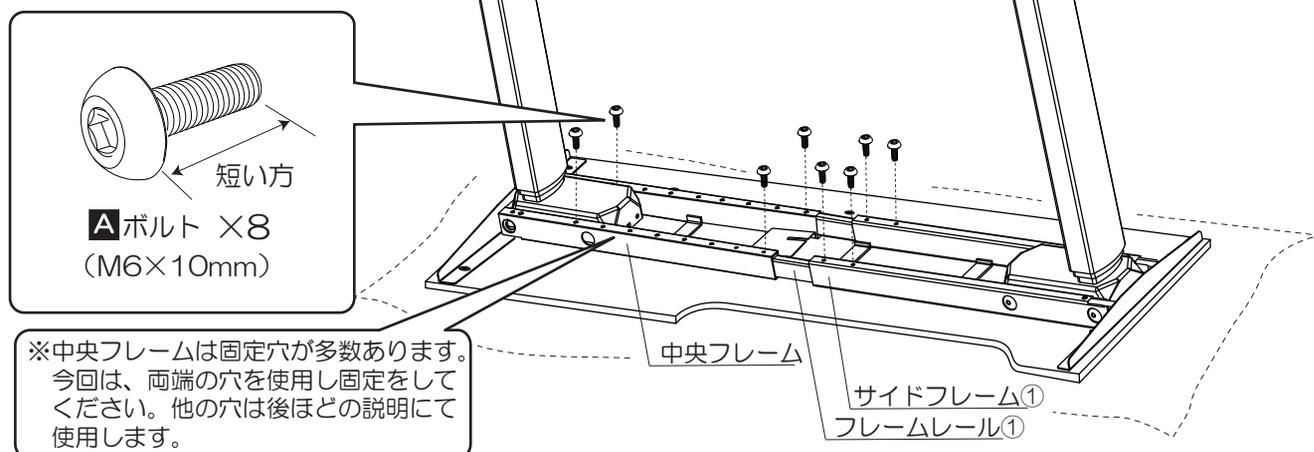
5 中央フレームの組付け



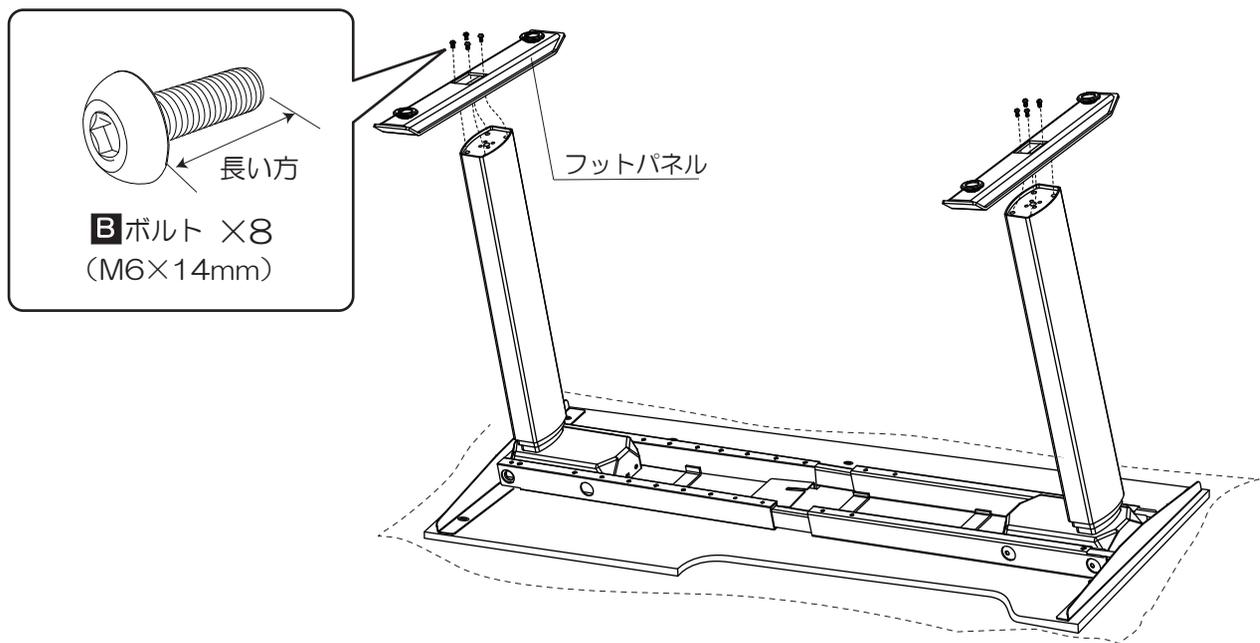
6 サイドブラケットの取付け、中央フレームの固定



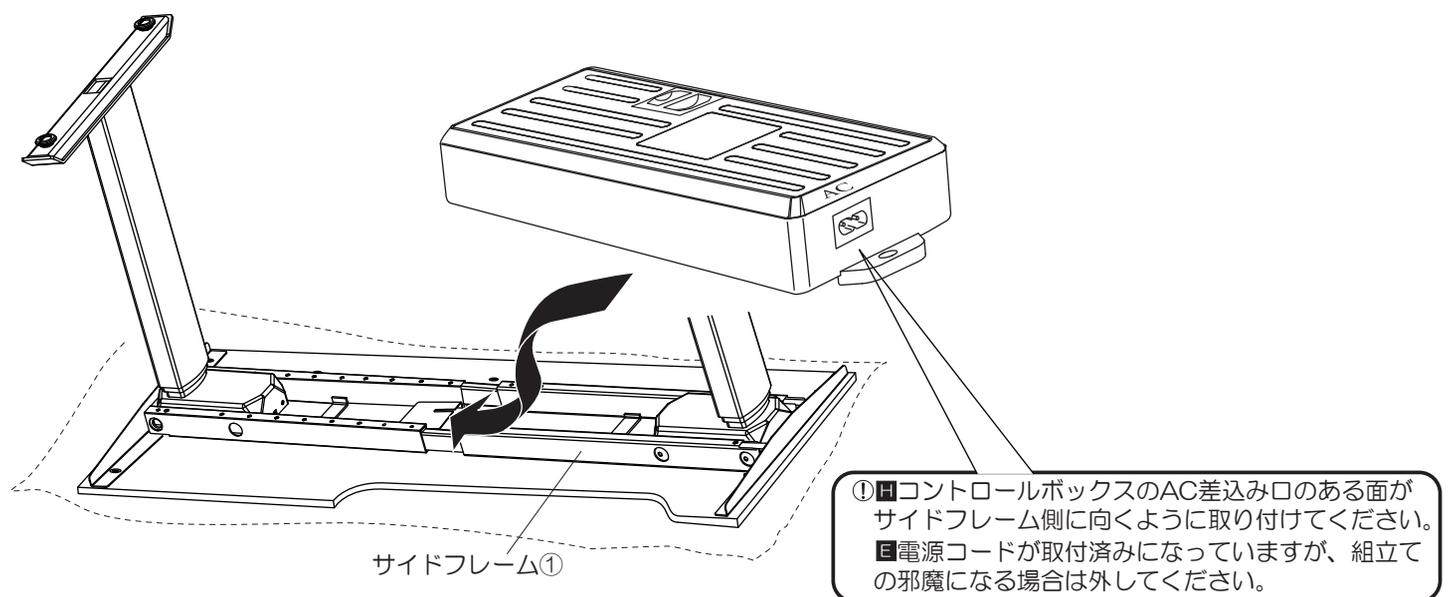
7 フレームレール①の固定



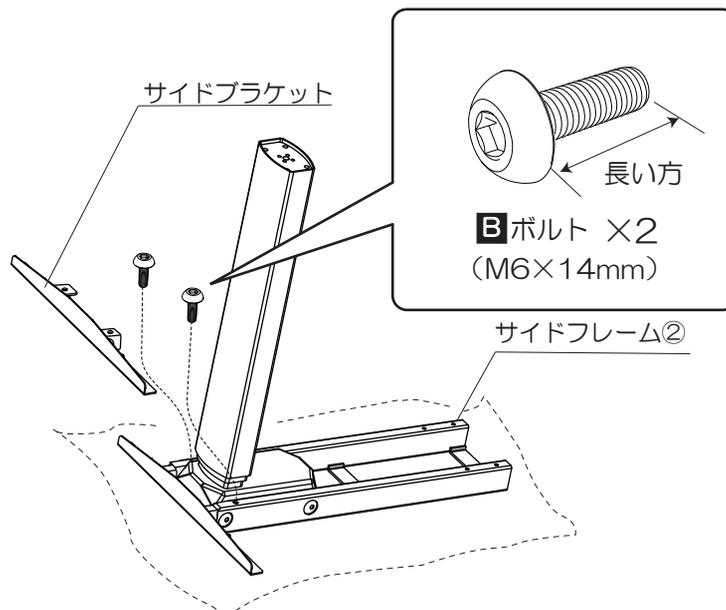
8 フットパネルの取付け



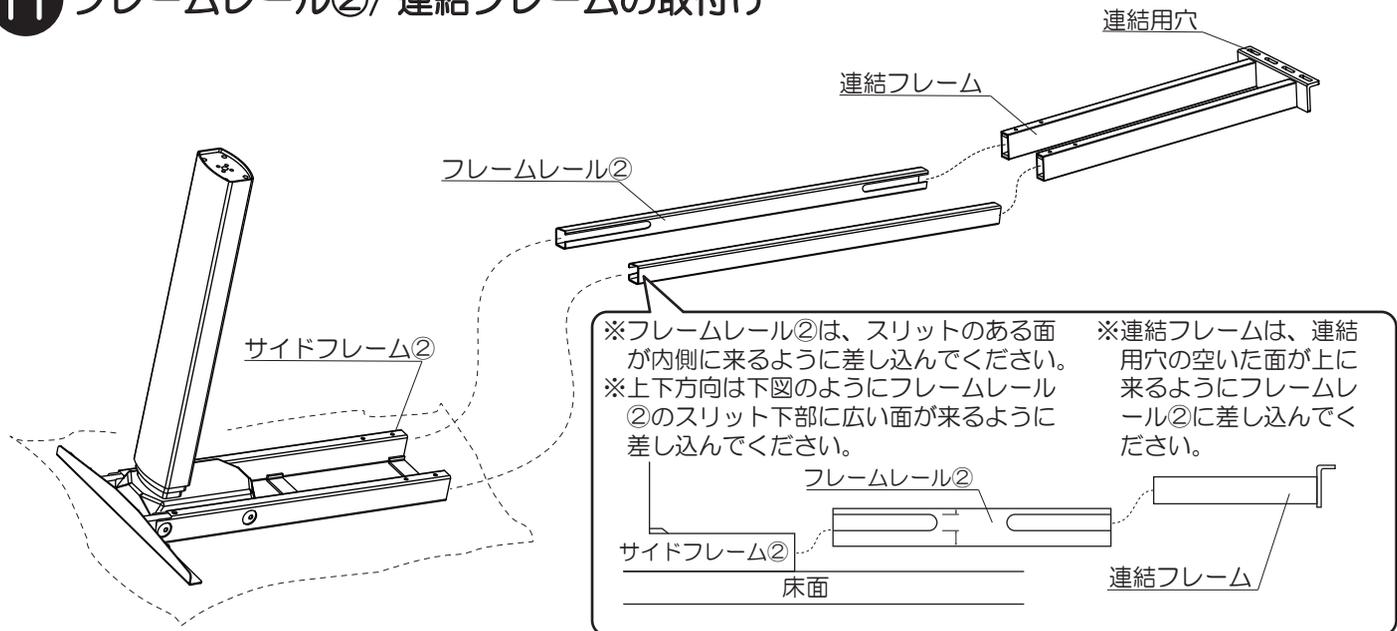
9 H コントロールボックスの取付け



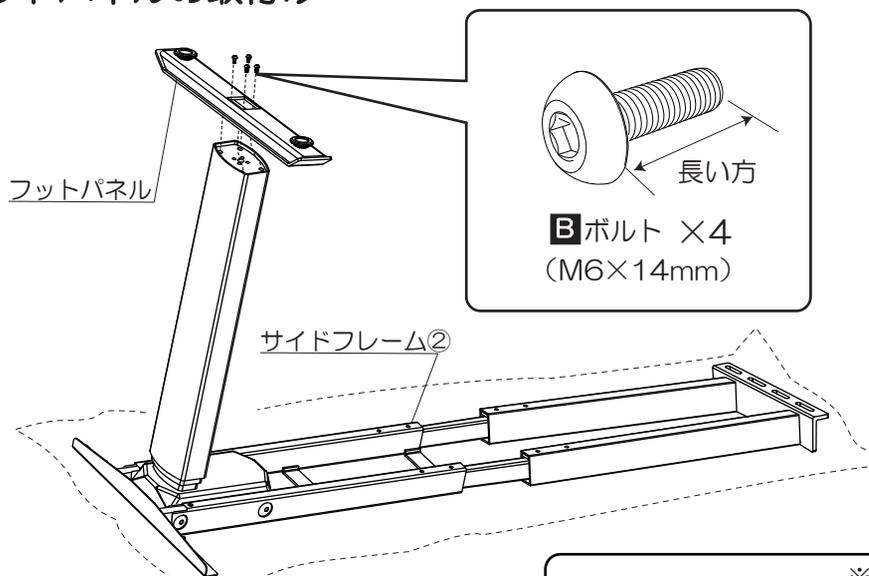
10 サイドフレーム②のサイドブラケットの取付け



11 フレームレール②/ 連結フレームの取付け

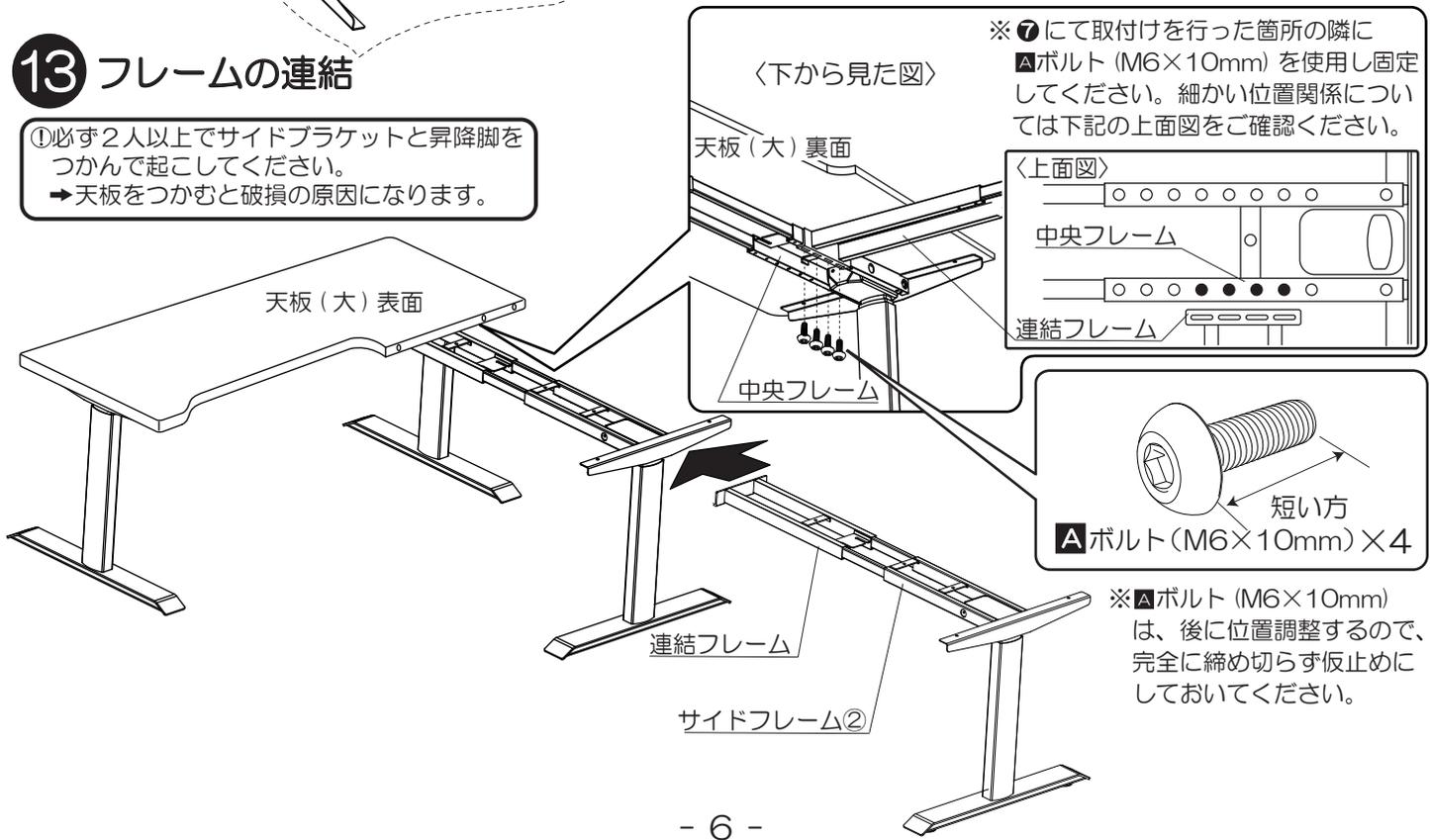


12 フットパネルの取付け

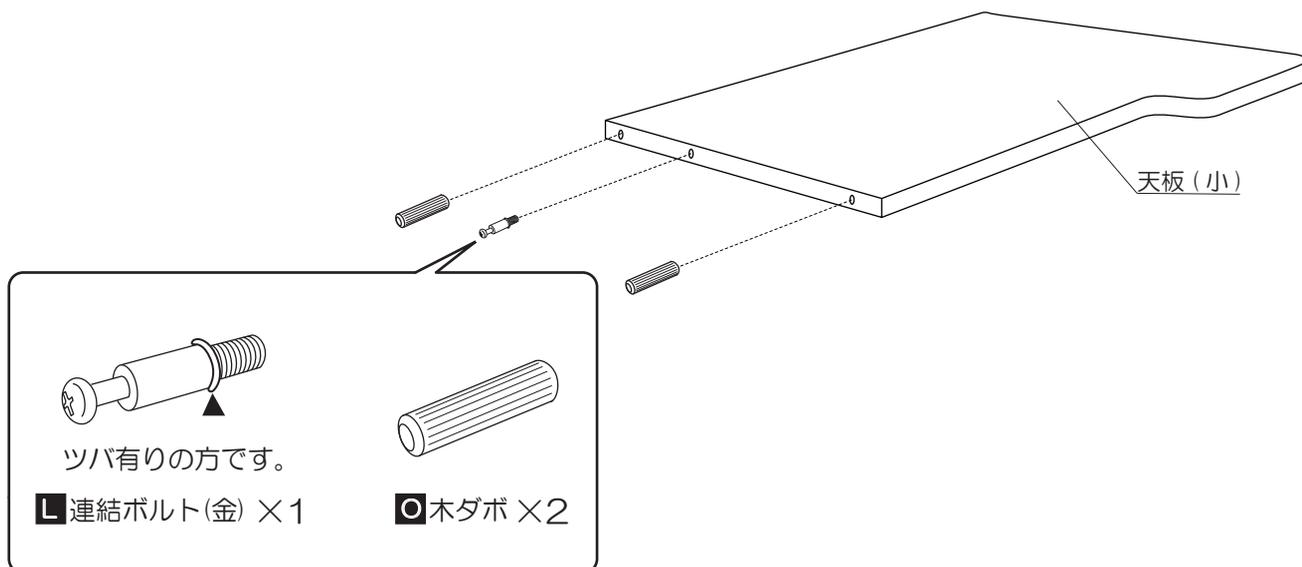


13 フレームの連結

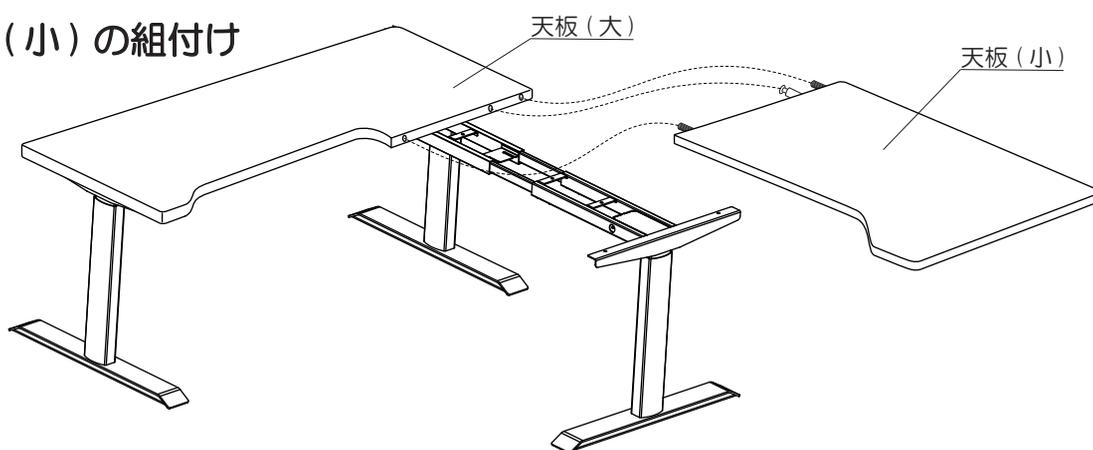
①必ず2人以上でサイドブラケットと昇降脚をつかんで起こしてください。
 →天板をつかむと破損の原因になります。



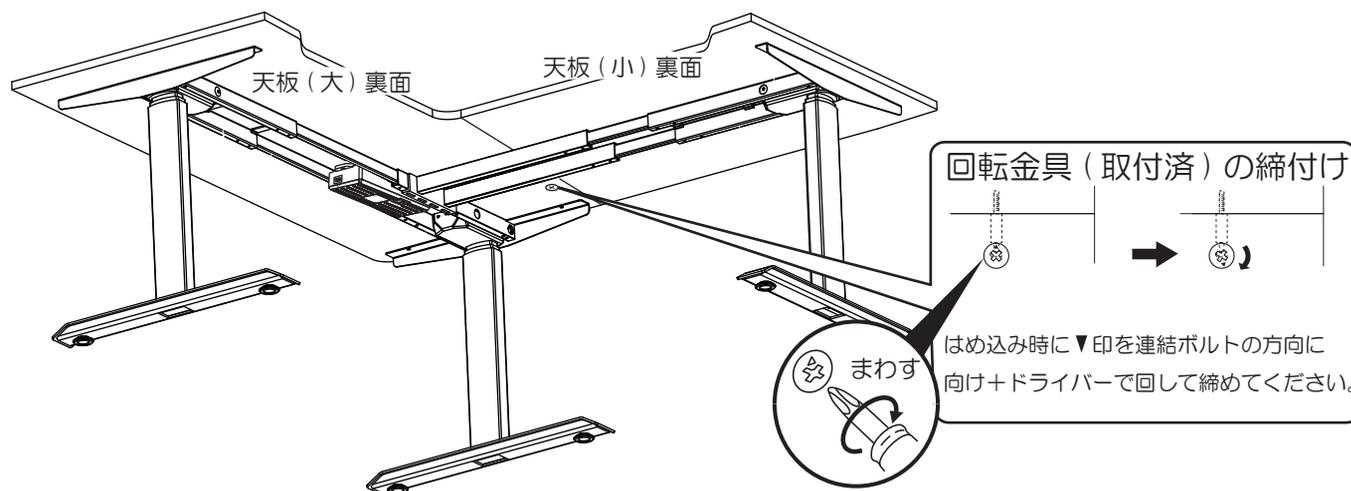
14 L 連結ボルト (金) ・ O 木ダボの取付け



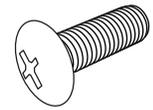
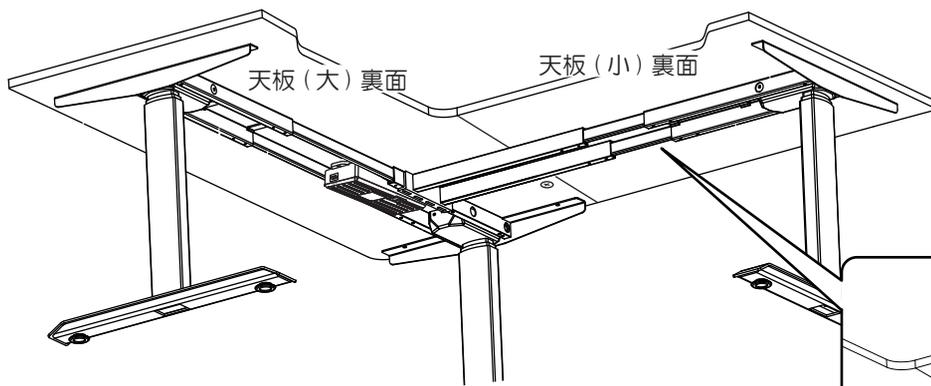
15 天板 (小) の組付け



16 回転金具 (取付済) の締付け

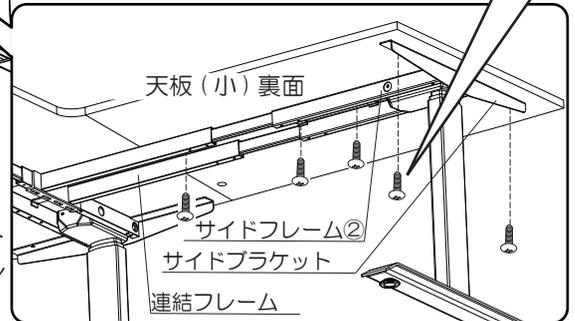


17 フレーム類の天板（小）への固定

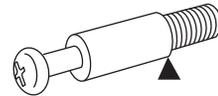
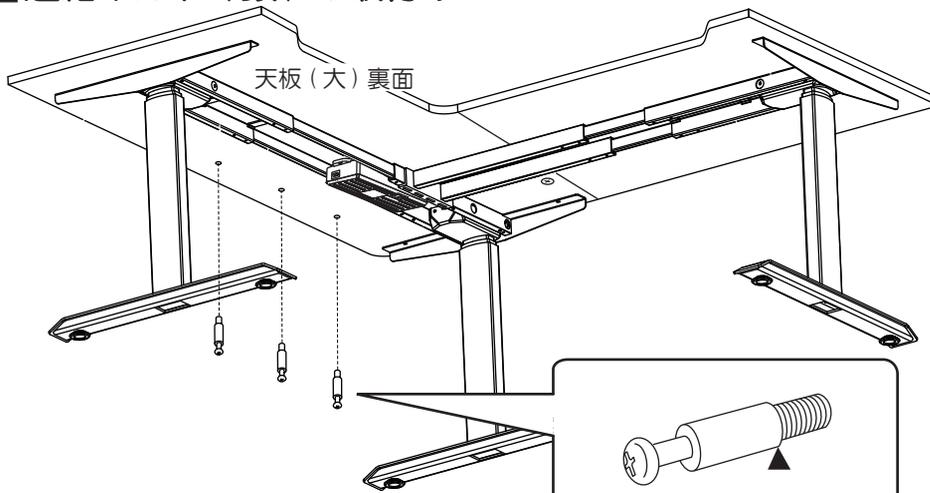


Jボルト ×5
(M6×15mm)

※⑬にて位置調整の為に仮止めしていた**A**ボルト (M6×10mm) を位置調整し固定が完了しましたら締め直してください。



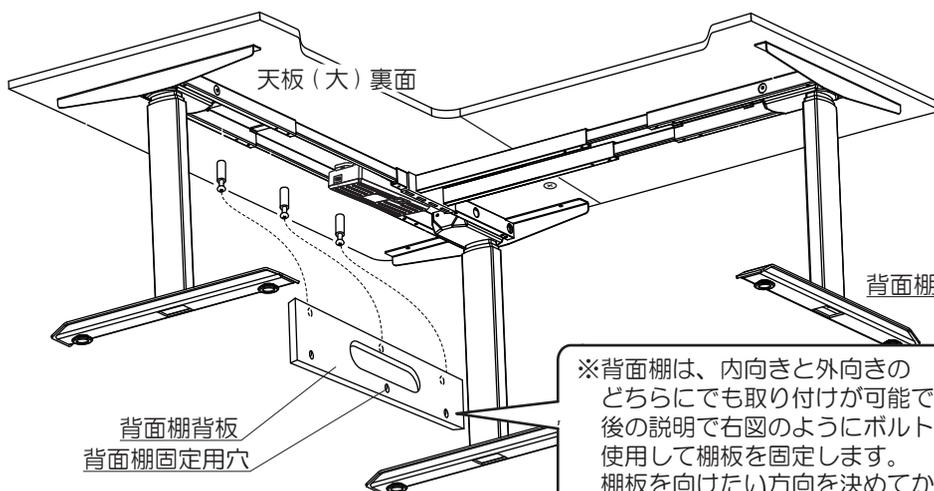
18 **M**連結ボルト（銀）の取付け



ツバ無しの方です。

M連結ボルト（銀） ×3

19 背面棚背板の組付け

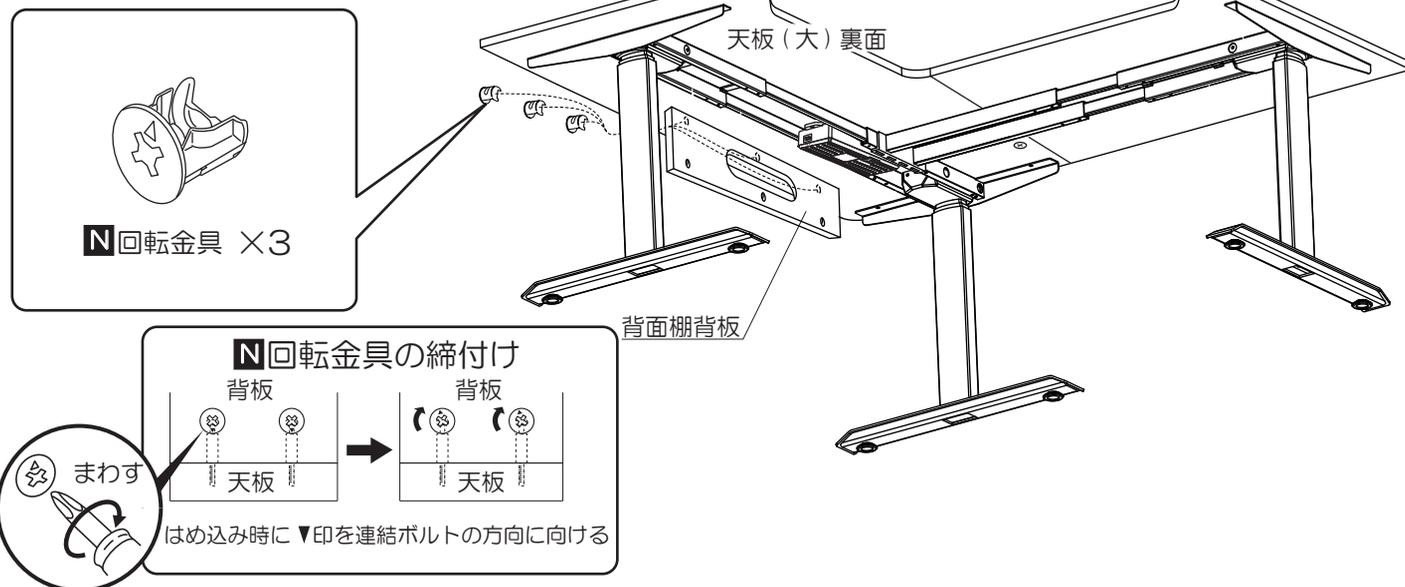


※背面棚は、内向きと外向きのどちらにでも取り付けが可能です。後の説明で右図のようにボルトを使用して棚板を固定します。棚板を向きたい方向を決めてから背面棚固定用穴の向きに注意し背面棚背板を取り付けてください。

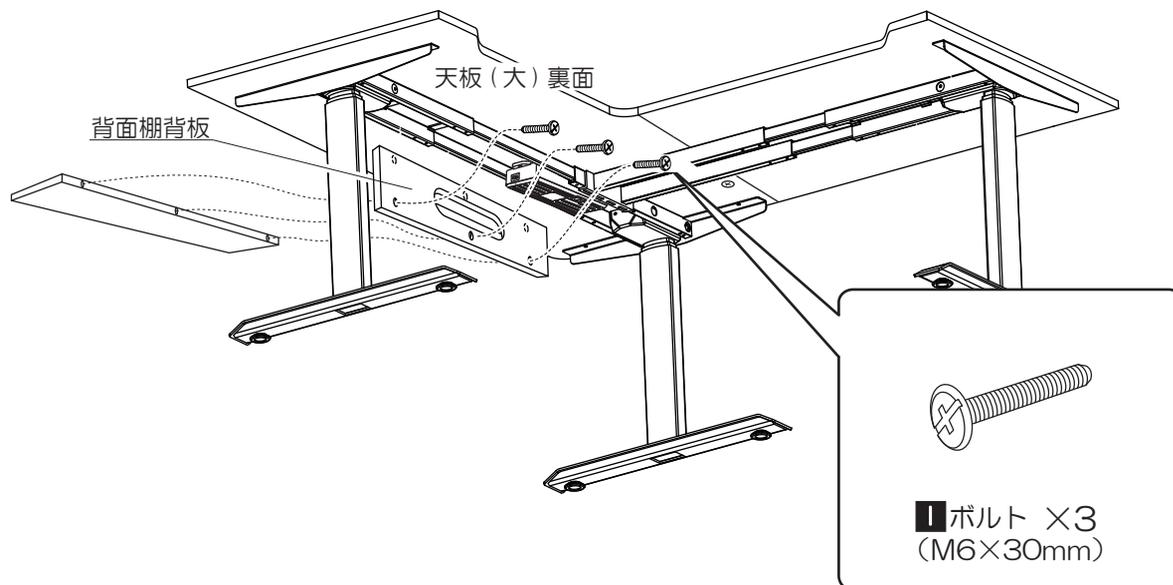
ボルト

背面棚固定用穴

20 N回転金具の取付け・締付け

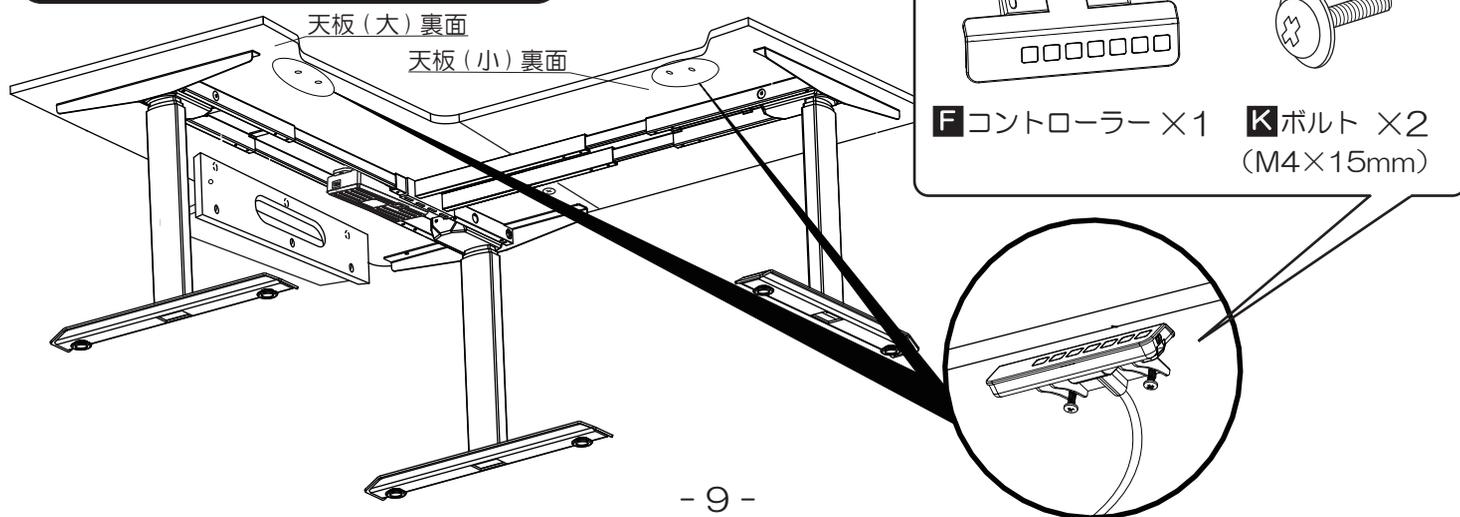


21 背面棚板の組付け



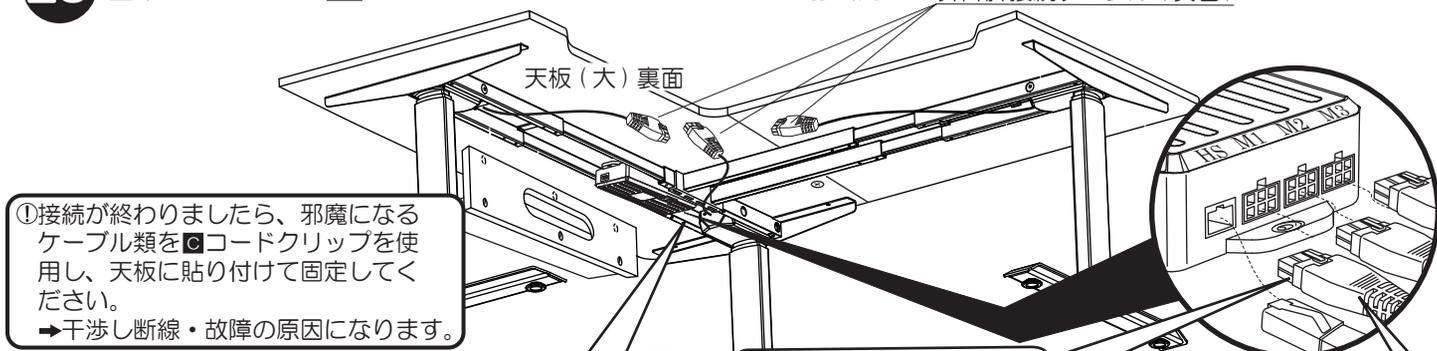
22 Fコントローラーの取付け

※ Fコントローラーは左右どちらにでも取付け出来ます。どちらが良いかお選びいただいた後に取付けを行ってください



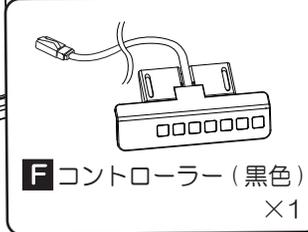
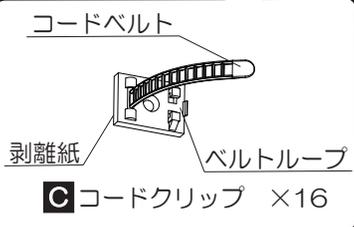
23 各種コードのHコントロールボックスへの接続

昇降脚接続ケーブル (黄色)



①接続が終わりましたら、邪魔になるケーブル類を**C**コードクリップを使用し、天板に貼り付けて固定してください。
→干渉し断線・故障の原因になります。

※裏面の剥離紙を剥がして天板裏面等に接着し、コードベルトをベルトループに通して固定してご使用ください。

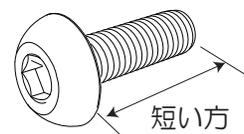
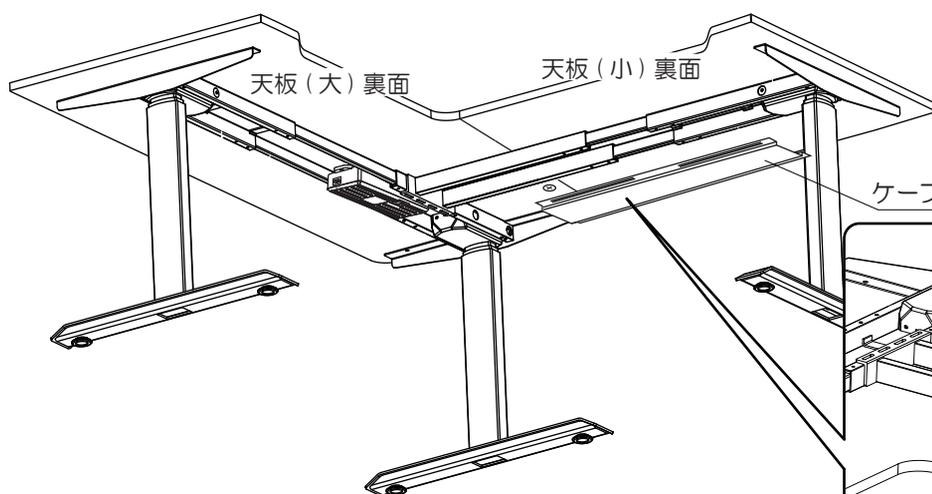


昇降脚接続ケーブル (黄色) ×3

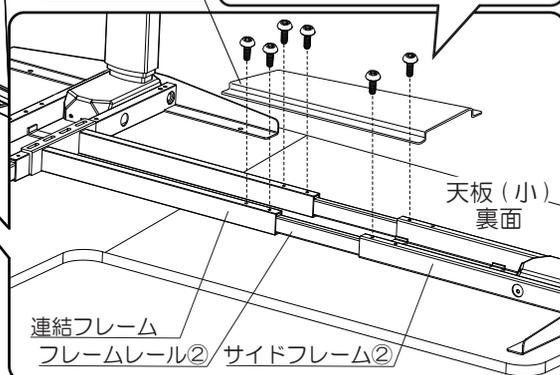


G 延長ケーブル (黒色) ×2
※昇降脚接続ケーブル (黄色) が **H** コントロールボックスまで届かない箇所に **G** 延長ケーブル (黒色) を使用してください。

24 ケーブルカバー・連結フレーム・サイドフレームの固定



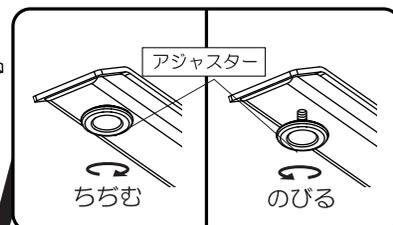
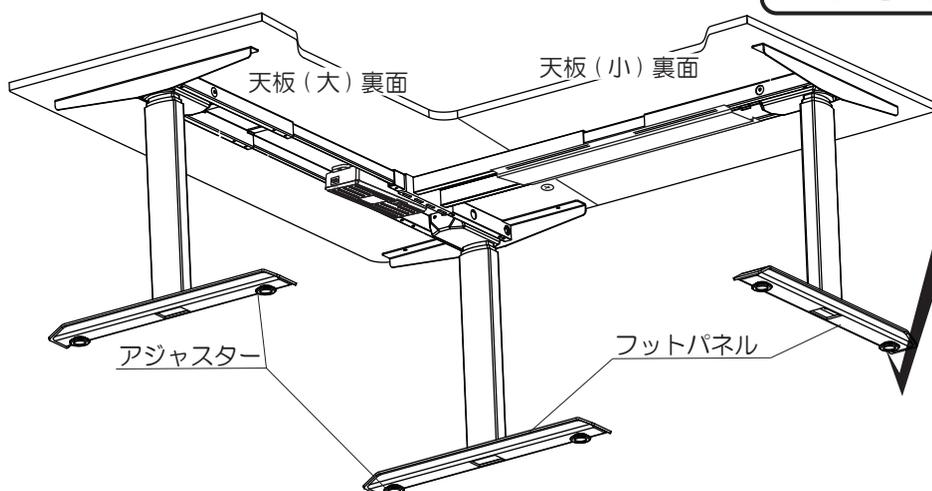
A ボルト ×6
(M6×10mm)



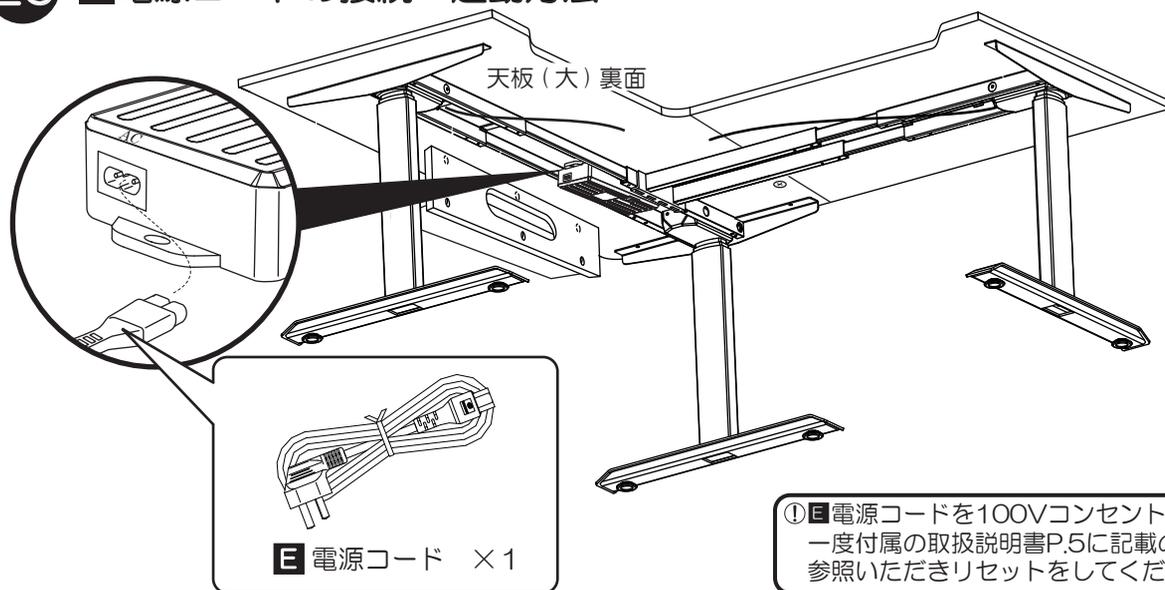
※ケーブルカバーを取り付けない際は、**A**ボルトを8本使いフレーム類を固定してください。

25 デスクの設置 アジャスターの調整

※ご使用されたい場所に設置後に、フットパネルの下面にあるアジャスターを調節し天板面がフラットな状態になるように調節してください。



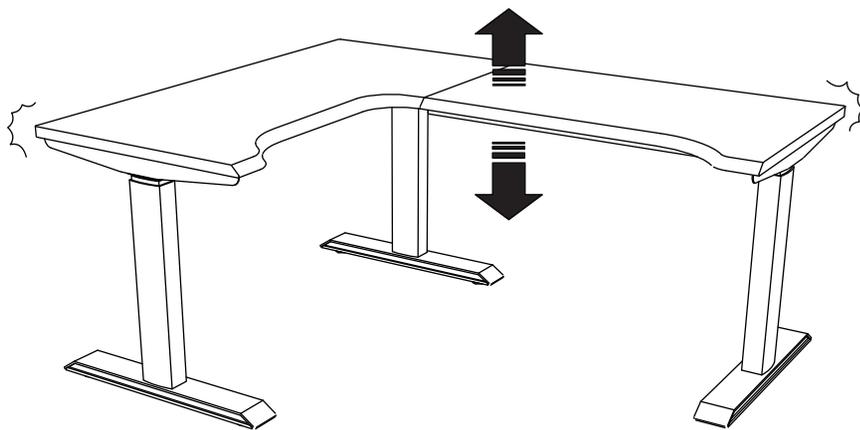
26 電源コードの接続・起動方法



① 電源コードを100Vコンセントに差し込んで一度付属の取扱説明書P.5に記載のリセット方法を参照いただきリセットをしてください。

① 電源コードの接続が完了しましたら、昇降動作時のケーブル長さを確保した上で、余ったケーブルを②と同様の手順にてコードクリップを使用し、天板に貼り付けて固定してください。
→干渉し断線・故障の原因になります。

安全機能



① 上下昇降動作中に天板に衝撃が加わると、動作方向とは逆方向に約4cm戻って止まる仕様となっております。

コントローラー操作方法・その他取扱説明について

① コントローラー操作方法・その他取扱に関する説明を付属の取扱説明書に記載しております。組立てが完了しましたら付属の取扱説明書もよく確認していただいた後にご使用ください。
→間違った操作をすると故障・怪我の原因になります。

分解方法

- 引越などで分解する必要がある場合は、この組立説明書の組立て方法の内容をよくお読みいただき、分解してください。
- 分解や組替えの際には、部材や部品を紛失しないよう、十分注意してください。
- 分解や組替えがわかりにくい場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、弊社お客様相談室にご相談ください。
- 分解方法や使用方法については、弊社ホームページに詳細を記載している場合がありますので、お困りの際には一度ご確認ください。 <http://kagu.koizumi.co.jp/>

